

パイロットスクール指定校

京都市立美豆小学校

1 課題設定テーマ

教育情報化

—伝え合う力を培うICT活用による学校づくり—

2 課題設定テーマの計画概要

情報手段を適切に活用し自らの問題解決のために、収集した情報を整理・要約し、新しい情報を創り出し、発信する力(情報活用能力)を身に付けることによって、より豊かな見方や考え方を生み出すことができるよう実践研究を進めていきたい。また情報が氾濫し、ネット犯罪が頻発する現状をふまえ、正しい情報を見極める力や情報を扱う上でのモラルを育成することや、常に相手を意識しながら情報を活用できるコミュニケーション能力の育成することを大切にしたい。これらの取組から、授業を変え、子どもを変え、学校を変えることが進められると考える。

整備されたICT環境を有効活用して、子どもたちの学力向上のための実践研究に取り組んでいきたい。学校教育の情報化が進む中で、デジタルコンテンツを授業で活用することは、子どもたちの意欲関心を高めたり、知識理解や学び方を補完したり、課題意識を拡充したりすることにつながる。これは子どもたちの学力向上に大きく結びつくものである。とりわけ、支援を必要とする児童に対しては、学力向上にとどまらず、他の児童とのコミュニケーションをとる手段としても有効と考えられる。

従来のアナログの教材や指導法には優れたものがたくさんあるが、現在汎用的なデジタルコンテンツが多数あり、授業の中で有効に使えるコンテンツを蓄積することで、効率的な教材研究が進められ、より質の高い授業実践にもつながると考える。デジタルコンテンツやICT機器の活用だけに重きを置くわけではないが、大切なことは子どもたちの学びをいかに支え、深めていくかであり、そのことを基本としながら、アナログとデジタルの融合を図った授業実践を研究していきたいと考える。

子どもたちの主体的な学習活動を展開するためには、情報活用能力の育成をすることが大切であり、情報化の進展の中で積極的にインターネットなどを活用し、情報をやりとりする上でのマナーやルールなど、情報モラルについての指導も重要である。「相手の立場を尊重し、思いやりの心を持つこと」「自分の行動に責任を持つこと」の大切さを人権教育の一環として進めてきたが、系統立てての指導はまだ不十分である。ネット社会に潜む危険性を知り、安全にネットワークを利用することのできる知識を持つこと、自分の発信する情報に責任を持つこと、また、人との関わりの中で、相手を思いやり、気持ちよく接することができるマナーなど、系統的に指導していきたい。

3 校内研究の概要

①教科名等

国語科

②概要（簡潔に記入）

「伝え合いを通して、いきいきと学ぶ子」を研究テーマにかけ、国語科を通して、生きる力のもとになるコミュニケーションの力を育てる。「話すこと・聞くこと」の領域における基礎・基本の指導事項に視点を当てながら「読むこと」「書くこと」をも視野に入れた取組を進める。読書指導と授業の中で情報機器を効果的に活用してわかりやすく楽しい授業を目指し、子どもたちの学ぶ意欲を高め、コミュニケーション能力を高めていきたい。

4 月間取組計画案

月	取 組 内 容
4月	着任者研修, 基本方針, 年間計画, 研修研究会, 校内LAN活用研修
5月	<u>公開授業と事後研究・理論研修会</u> 校内LAN課題別研修への参加 <u>つばさ学級授業研究</u>
6月	4年2組授業研究
7月	3年3組授業研究 ICT活用授業の構築
8月	ICT機器活用集中研修会
9月	5年1組授業研究
10月	2年1組授業研究
11月	1年3組授業研究 ICT活用授業の構築
12月	6年2組授業研究 ICT活用授業の構築
1月	研究発表会(全学年公開授業)
2月	研究のまとめ 年間反省
3月	次年度の方針

